

## 第35回 日刊自動車新聞 用品大賞2022 選定結果発表

グランプリはパイオニアの「NP1」に決定

準グランプリはマルカサービスの「テスラ：モデル3専用ホイール MTW TW027

株式会社日刊自動車新聞社（社長：高橋賢治／本社：東京都港区）は1日、「第35回 日刊自動車新聞 用品大賞2022」のグランプリおよび、各部門賞を決定した。

グランプリはパイオニア株式会社の「NP1」、準グランプリはマルカサービス株式会社の「テスラ：モデル3専用ホイール MTW TW027」に決定した。

今回の用品大賞は、コネクテッドや自動運転を意識した製品や、電気自動車（EV）専用品などの次世代に対応した将来性のある製品のほか、サステナビリティ部門の新設やコロナ禍を反映した製品の受賞など、市場環境や社会情勢を反映した結果となった。また、ドライバーの安全安心に関わる製品や、車載専用ならではの利便性の高い定番のカー用品も選出した。

表彰はグランプリ、準グランプリのほか、16部門と特別賞の合計27社。表彰式は、新型コロナウイルス感染対策を施したうえで、15日（金）に都内のホテルで開催する。

「日刊自動車新聞 用品大賞」は1987年のスタート以来、自動車ユーザーに多彩で充実したカーライフを提案するとともに、自動車用品の販売促進と業界発展に寄与することを目的として選定し、今年で35回目を迎えた。

選定対象は、2021年4月から2022年6月の期間に発表、発売し、注目を集めた各ジャンルのカー用品。カー用品販売店や自動車整備専門学校の学生などの協力のもと実施したアンケート調査の結果も参考に各賞を決定した。選定にあたっては社内に「日刊自動車新聞用品大賞2022選定委員会」を設置。販売数量だけでなく商品開発のアイデアや話題性、業界貢献度、社会状況なども鑑み、総合的に評価した。

日刊自動車新聞 用品大賞2022は、本紙紙面のほか、弊社ウェブサイト

(<https://www.netdenjd.com/>)、公式Twitter [@nikkanjidosha](https://twitter.com/nikkanjidosha)でも発表する。

### 【用品大賞についてのお問い合わせ先】

日刊自動車新聞社 用品大賞実行委員会

<広報担当>波部・下岸

〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル3階

TEL：03-5777-2621／ Email：[koukoku@njd.jp](mailto:koukoku@njd.jp)

グランプリ・準グランプリ・部門賞・特別賞 選定結果

グ ラ ン プ リ	パイオニア株式会社 <u>「NP1」</u>
準 グ ラ ン プ リ	マルカサービス株式会社 <u>「テスラ：モデル3専用ホイール MTW TW027」</u>
タ イ ヤ 部 門	住友ゴム工業株式会社 <u>「DUNLOP SP SPORT MAXX 060+」</u>  横浜ゴム株式会社 <u>「ADVAN NEOVA AD09」</u>
ホ イ ー ル 部 門	株式会社ジャパン三陽 <u>「HI-BLOCK ERDE」</u>
カ ー A V 部 門	アルプスアルパイン株式会社／アルパインマーケティング株式会社 <u>「フローティングBIG DA」</u>
ドライブレコーダー部門	セルスター工業株式会社 <u>「ドライブレコーダー CD-30/CS-361FHT」</u>  株式会社コピテル <u>「全方面3カメラドライブレコーダー marumie Y-3000/Z-300」</u>
カスタマイズ（足回り）部門	株式会社テイン <u>「MONO RACING DAMPER SPEC R」</u>
カスタマイズ（エアロ）部門	株式会社クレアーレ <u>「BUSOU LEAF スポイラーセット」</u>
ランプバルブ部門	株式会社SPREAD／SPHERE LIGHT <u>「RIZINGⅢ」</u>
整備サポート部門	株式会社TCL <u>「バッテリー充電器 CTEK PRO25S JP」</u>
輸 入 車 部 門	株式会社グラスウエルドジャパン <u>「ダイヤモンドポリッシュ」</u>
キ ッ ズ 部 門	ブリッド株式会社 <u>「BRIDE Konforte ISOFIX」</u>

洗車・コーティング部門

株式会社 KC インターナショナル  
[「THE d'ELEGANCE WAX -風神&雷神-」](#)

株式会社リンレイ  
[「ウルトラハードシリーズ『ウルトラハードクリーナー&コーティング ヘッドライト用』」](#)

アクセサリ部門

株式会社カシムラ  
[「Qi 自動検知電動ホルダー キャパシタ付 吸盤取り付け KW-25」](#)

株式会社ボンフォーム  
[「『カラーメイクアップ』シリーズ」](#)

車内快適部門

株式会社カーメイト  
[「シャーミング \(車眠具\)」](#)

ウイルス対策部門

株式会社 alto  
[「nanozone COAT MOBILITY」](#)  
NEW 株式会社  
[「IGスプレー」](#)

アイデア部門

星光産業株式会社  
[「E-E-235 スイッチエクステンション BK」](#)

株式会社データシステム  
[「ハイマウントリアカメラキット『RCK』シリーズ」](#)

サステナビリティ部門

株式会社アクト/兵庫県自動車整備商工組合  
[「よみがえるくんECO21」](#)

ロングセラー部門

エナジーウィズ株式会社  
[「Tuflong シリーズ」](#)

特別賞

株式会社ソフト99コーポレーション  
[「ぬりぬりガラコ DX」](#)

[一般社団法人日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会](#)  
[JAWA事業部 「設立50周年」](#)

**グランプリ** パイオニア株式会社 「NP1」



“会話するドライビングパートナー”として、音声で操作する「NP1」。従来のカーナビゲーションの操作や確認では目や手を使うものが多く、ドライバーに負担がかかっていた。NP1は、声だけで操作・案内するスマート音声ナビで運転に集中することができ、さまざまな車両に取り付けることが可能。また、前後2カメラで映像がクラウドに録画される、ドライブレコーダー機能も搭載されている。常時通信されていることで、新

機能の追加やアップデートも定期的に行われるほか、クルマWi-Fiもdocomo in Car Connectの契約で使用することもできるなど、便利機能を1つにまとめている。販売店アンケートでも、カーナビやドラレコ、アイデア用品と幅広い部門で支持を得ており、注目のカー用品として選出した。

**準グランプリ** マルカサービス株式会社  
「テスラ：モデル3専用ホイール MTW TW027」

次世代モビリティをターゲットに立ち上げた新ブランド「MTW (マルカ・テラード・ホイール)」。その第1弾となるホイール。EVユーザーが求める静粛性を実現するため徹底したこだわりを持った設計とした。ノーマルホイールに比べ5デシベルの低減を実現し、ホイールのインナーリムの肉厚を厚くすることでリアシートの乗り心地の改善にもつなげている。

インナーリムの肉厚化は、静粛性と乗り心地の改善だけでなく、剛性アップにもつながっている。EVの特性である低速からの膨大なトルクに負けない剛性で、その特性を生かす。



**タイヤ部門** 住友ゴム工業株式会社 「DUNLOP SP SPORT MAXX 060+」



ハイパワーかつハイトルクなプレミアムカーの性能を最大限に引き出し、高速安定性、コーナリング特性、ウェット性能を従来品に比べ大幅に向上した。天然由来のサステナブルシリカ分散剤を使用することで、環境負荷低減にも貢献している。サイドウォールのブランドロゴと商品名に独自の黒色デザイン技術「Nano Black (ナノブラック)」を採用。プレミアムカーの上質さにフィットする高級感と存在感を演出している。

**タイヤ部門** 横浜ゴム株式会社 「ADVAN NEOVA AD09」



9年振りにモデルチェンジしたADVAN NEOVA AD09。GR86やBRZ、フェアレディZなど注目のスポーツカーが発売される中、モータースポーツからフィードバックされた技術が詰め込まれたストリートスポーツタイヤとして、従来のファンのみならず、新たなユーザー層の開拓を進めている。コントロール性や耐摩耗性能も進化したほか、コントラストを鮮明にしたブランドロゴの採用など、カスタマイズを楽しめるタイヤとして評価した。

**ホイール部門** 株式会社ジャパン三陽 「HI-BLOCK ERDE」

人気のSUVを足元からドレスアップするHI-BLOCKシリーズ。ERDE (エルデ) は、リム周りにビートルック風のピアスボルトを配置したほか6本のツインスポークがよりスポーティーな雰囲気を与えている。16と17インチの展開ながらジムニーからハイラックスまで幅広い車種に対応する。街中でもアウトドアでもSUV感を演出し、シリーズの中でも発売から間もないが人気の製品となっている。



**カーAV部門** アルプスアルパイン株式会社／アルパインマーケティング株式会社  
「フローティングBIG DA」

モバイルデバイス中心のライフスタイルに変化する中、アプリと連携するディスプレイオーディオ「フローティングビッグDA」。業界最大11インチの大画面に加え、独自開発のフルデジタルパワーアンプや低音ノイズを減らす高音質回路などを採用。音にこだわり、車種ごとの専用チューニングが可能で、ハイレゾ音源を楽しめる。カーナビ機能はスマホのアプリケーションを連動するなど、カーAV機器の新たな使い方を提案している点を評価した。



**ドライブレコーダー部門** セルスター工業株式会社  
「ドライブレコーダー CD-30/CS-361FHT」



360度+リア型で初めて国内市場に投入されたドライブレコーダー。前方180度、左右と車内180度、後方を3カメラで録画する全方位ドライブレコーダー。急激な明るさの変化にも対応するハイダイナミックレンジ（HDR）や、暗所でもクリアに記録できるSTARVIS IMX307を搭載する。車内カメラには赤外線LEDを搭載。カメラ本体がコンパクト設計で、目立ちすぎないことも特徴のひとつ。広角レンズの組み合わせによるゆがみが少ない自然な映像記録が支持されている。

**ドライブレコーダー部門** 株式会社ユピテル  
「全方面3カメラドライブレコーダー marumie Y-3000/Z-300」



業界初のリアデュアルカメラを備えた、3カメラ型ドライブレコーダー。マルミエシリーズの全機能が搭載されたモデル。前方1カメラと、後方から左右と車内を記録するリアデュアルカメラをセットにし、従来の前後記録だけでなく、前後・左右・車内の記録を可能にした。搭乗者の顔や行動は記録しないプライバシー設計にもなっている。コストパフォーマンスと性能の高さから順調に販売を伸ばしている。

カスタマイズ（足回り）部門

株式会社ティン

「MONO RACING DAMPER SPEC R」



GR86/BRZカッププロフェッショナルクラスの指定部品に採用された、「MONO RACING DAMPER SPEC R」。レース本番を想定し、プロドライバー監修のもとセッティングされた。アルミ製のアッパーマウントやストロングチューブ正立式構造を採用、減衰力調整ダイヤルのアクセスが容易でより多くのセッティングを試すことができる。GR86/BRZ用のMONO RACINGも発売し、エントリー層からサーキットまで広くカバーしている。

カスタマイズ（エアロ）部門

株式会社クレアーレ「BUSOU LEAF スポイラーセット」

「BUSOU（ブソウ）」ブランドとして、日産車のカスタマイズパーツの開発販売を手掛ける同社。カスタマイズのイメージが少ないEV車向けにも製品を展開する。リーフ向けに、東京オートサロン2020カスタムカー優秀部門を受賞した開発チームが手掛けたエアロパーツ。フロントとサイド、リア用に、それぞれ3種類のカラーを用意する。EVが普及する今後、EVカスタマイズをけん引する製品として評価した。



ランプバルブ部門

株式会社SPREAD/SPHERE LIGHT「RIZINGⅢ」



約4年ぶりにモデルチェンジしたスフィアライトの「ライジング3」。ファンレスLEDライトで最高クラスの6千ルーメンの明るさを確保したほか、熱伝導に優れたヒートパイプを搭載し、前モデルを上回る発光を実現。また「Wヒートシンク設計」の採用で、放熱効果を従来比で30%向上させた。両面基板の採用と発光位置を内側にする事で配光のムラをなくして視認性を高めるなど、夜間の安全な走行をサポートしている。

**整備サポート部門** 株式会社TCL  
「バッテリー充電器 CTEK PRO25S JP」



リチウム・鉛バッテリーどちらにも対応するという点が特徴の充電器。具体的には、12ボルトのリン酸鉄リチウムバッテリーと12ボルト鉛蓄バッテリーに対応している。プログラミング時や展示車両の電源としても使用でき、自動車ディーラーや整備工場向けのプロ仕様充電器と言える。最大25A出力により高速充電を実現している。満充電後も自動的にメンテナンスモードに移行するため、繋げっぱなしでも特に問題なく使用できる。

**輸入車部門** 株式会社グラスウエルドジャパン「ダイヤモンドポリッシュ」

輸入車に特化したモール用の特殊研磨剤。「人工ダイヤモンド粉」を用いており、独自のイオンパワーを発揮することで、窓ガラス周辺のモールに付着したシミや白サビを簡単に除去する。1箱で車両3台分の施工も出来る。従来のポリッシャーと比べて価格が安く、研磨作業の時間を1/3に短縮する。モールを一定方向に磨くだけの簡単な作業で済むことから、経験の少ない初級者でも手軽に使える点も特徴だ。



**キッズ部門** ブリッド株式会社 「BRIDE Konforte ISOFIX」



スポーツシートを手がけるブリッドが発売したチャイルドシート。安全と安心を最優先に開発された、リーマン社とのコラボレート製品。最新の側突対応強化の安全基準「R129」に適合している。ISOFIX対応で簡単に、そして確実に取り付けができる。ブリッドのロゴが各所に配置され、子どものころからブリッドのシートに親しめる。今後もジュニアシートなど発売を予定しており、こだわりのシートを幅広い年齢で楽しめる商品展開を評価した。



**洗車・コーティング部門** 株式会社 KC インターナショナル  
「THE d'ELEGANCE WAX -風神&雷神-」



次世代炭素素材のカーボンナノチューブ（CNT）を配合し、ホコリや汚れを寄せ付きにくいワックス。光沢感や防水性能が異なる2種類を作り分け、ワックス施工前の下地剤とふき取り用クロス、専用スポンジをセットにした。風神は「違和感」を感じる艶を生み出し、雷神は「凛」としたボディーの表情が特徴。愛車の輝きを一層高めるハイエンドワックスとして、洗車マニアの話題を呼んでいる。個性的なパッケージで製造工程も手作業と、希少性も高い。

**洗車・コーティング部門** 株式会社リンレイ  
「ウルトラハードシリーズ『ウルトラハードクリーナー&コーティングヘッドライト用』」

家庭用製品で定評のあるウルトラハードシリーズの自動車用第2段。研磨剤不使用でありながら、黄ばみやくすみを強力に溶かして落とす。特殊コーティング成分には、再発防止効果があり、透明感を持続させる。コーティング保護は約2年の耐久性を実現した。

ウルトラハードシリーズは、洗浄力の高さが特徴の住居用洗剤で、昨年、自動車用ウルトラハードシリーズ第1弾として、自動車用クリーナーとコーティング剤を発売している。



**アクセサリ部門** 株式会社カシムラ  
「Qi 自動検知電動ホルダー キャパシタ付 吸盤取り付け KW-25」



Qi 規格対応のiPhone、スマートフォンのワイヤレス充電位置を自動で検知できる電動式スマホホルダー。スマートフォンを補助足に置くと上下に動き、充電コイル位置を自動で検知し充電する。これにより充電効率が向上、操作も簡単で、ボタンに軽く触れるだけで、アームが自動開閉するワンタッチ操作を実現した。エンジンオフ状態でも電動アームが開閉可能なキャパシタを内蔵する。定番製品のスマホホルダーの中で、利便性が高い点が評価された。

**アクセサリ部門**

株式会社ボンフォーム 『カラーメイクアップ』シリーズ

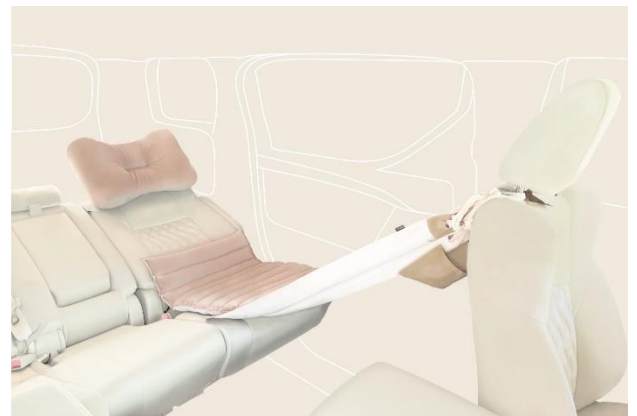


女性に人気の車種の色合いをイメージした車内インテリア用品。抗菌防臭加工の素材を使用し、クッションやシートベルトパッド、ハンドルカバー、ティッシュカバーをラインナップ。女性のユーザーが選びやすいカラー、デザインにした。一つひとつの製品をユーザーの目線で考えて企画し、新たなユーザー層の開拓や売り場の活性化などにつなげる魅力ある製品づくりに注力する企業姿勢も評価した。

**車内快適部門**

株式会社カーメイト 「シャーマング（車眠具）」

ハンモック、クッション、まくらの3セットで使用すると、車内で足を伸ばして休息を取ることができる。前席のヘッドレストと後席をつなぐハンモック型で、徳田勝社長の実体験をきっかけに開発がスタート。チャイルドシートやヘッドレストに装着するカー用品の知見を生かし、3年かけて開発した。クラウドファンディングサービス「マクアケ」では、掲載から4日で完売。レジャーや車中泊、災害時などさまざまなシーンで利用できる。



**ウイルス対策部門**

株式会社 alto 「nanozone COAT MOBILITY」



自動車内装用の抗菌・除菌・消臭剤で、独自の光触媒コーティング技術を用いている。光触媒で対象物を吹き付けると、光が対象物上の光触媒に当たり、空気中の酸素や水分から活性酸素が発生し、活性酸素に触れたウイルスをはじめ菌、アンモニアやアレルギーなどを酸化分解する。従来の酸化チタンのコーティングに比べて粒子径が小さく、自力で施工面に結合するため、接着剤が不要。分子間結合のため、はがれることもなく長期間持続する。

**ウイルス対策部門** NEW 株式会社 「IGスプレー」



エアゾールタイプの車内コーティング剤。無機系、有機系成分の配合により抗ウイルス、抗菌に加え、抗カビにも効果を発揮する。一般的な光触媒を利用した抗菌剤とは異なり、含有成分の特性により光が届かない足元部分やガレージ内の駐車時にも効果が得られる。整備事業者の付加価値商品として導入が進んでいる。また、定期的な施工がさらに効果を高めることから、管理客の固定化と接触機会の創出にも役立つ。

**アイデア部門** 星光産業株式会社 「EE-235 スイッチエクステンション BK」

カーアクセサリブランド「エクセア」のスズキ「ジムニー」「ジムニーシエラ」向け車種専用品。窓の開閉操作を、走行中でも直感的に操作できる便利製品。専用色として純正感を意識したブラックを用意しジムニーの無骨さを演出する。両面テープで張り付けるだけの簡単取り付けが可能。ドア周りではなく、エアコンスイッチ付近に窓の開閉操作ボタンがある同車両の特徴を生かした製品として評価した。



**アイデア部門** 株式会社データシステム 「ハイマウントリアカメラキット『RCK』シリーズ」

角度調整が可能なリアカメラを、バックドアのウォッシャーノズルの取り付け穴を利用して装着する一体型製品。純正品のリアカメラよりも高い位置の装着となるため後方の視認性が向上する。ボディへの加工不要で施工性も高く、防水・防塵規格のIP67に対応し、安心して使用できる。カメラを上向きにすれば、バックミラーのように後方確認用としても使える。

今後、取り付け対象車種の追加も予定し、新しい発想の製品であるとして選出した。



**サステナビリティ部門** 株式会社アクト／兵庫県自動車整備商工組合 「よみがえるくんECO21」



再生溶剤と特殊放電機を組み合わせしており、再生した後は出荷前に電圧、比重やコールド・クラッキング・アンペア値を厳しくチェックし、基準値を達成した製品のみを出荷するなど徹底した品質管理を図る。厳しい検査により耐久年数2年または走行距離4万キロメートルという高い品質を確保している。また、価格は新品の半値以下と価格競争力も高く、製造工程で排出される二酸化炭素は1/25と環境への負荷が少ない。

**ロングセラー部門** エナジーウィズ株式会社 「Tuflong シリーズ」

エナジーウィズの自動車バッテリー「Tuflong (タフロング)」シリーズは、「タフでロングに使える」をコンセプトに2000年に誕生。昨年性能の向上とデザインを一新し、鉛蓄電池のサステナブルな側面を打ち出す。アイドリングストップ車、EN規格（欧州規格）搭載車、充電制御車対応はじめ、配送車・業務用アイドリングストップ車、タクシーや営業車に特化した専用設計モデルなど、全11シリーズをラインアップ。



**特別賞** 株式会社ソフト99コーポレーション 「ぬりぬりガラコ DX」



2021年に発売30周年を迎えたガラコシリーズに最高レベルの撥水性能を持つ製品として誕生した。シリーズ史上最強レベルの撥水性に加え、高い耐久性・作業性を実現している。新技術の「SARF (Strong Adhesion/Rapid Finish)」が、従来を凌駕する撥水被膜を形成。究極まで摩擦抵抗を減らし、はじいた雨を滑るように吹き飛ばす。フッ素不使用にもかかわらず、撥水効果は4カ月間持続する。

**特別賞** 一般社団法人日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 JAWA事業部  
「設立50周年」



カーカスタマイズの一丁目一番地といわれるアフターアルミホイールの安全性と信頼性を確保するための業界団体として活動するJAWA（ジャパンライトアロイホイールアソシエーション）事業部。1972年に「スポーツホイール販売協会」として設立し、50周年を迎えた。国土交通省の定める技術基準に適合されるために3種類の高度確認試験（「JWL（-t）」や、VIA登録制度を推進、これら基準に適合する証として「JAWA品質認定証」の貼付を行っている。2020年に、「スリースターマーク」を新設し、消費者がホイールを購入する際の指針として、普及に努めている。